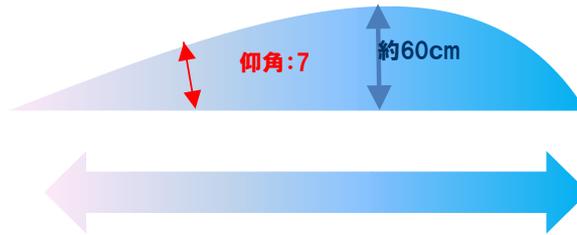
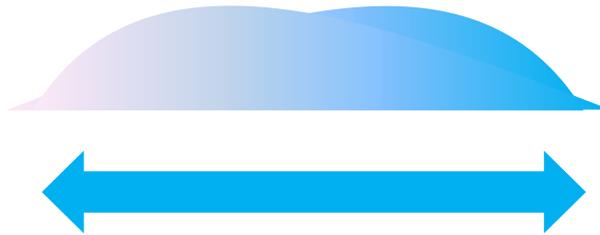


従来の低仰角スプリンクラー



一般的には、樹下へのかん水は低仰角(7~12°)のスプリンクラーを使います。また、かん水ムラを小さくするために両側からオーバーラップさせるのが一般的です。

従来の低仰角スプリンクラー(両側からオーバーラップ)



樹下かん水用スプリンクラー 30WJ、35XJの場合



新開発の「樹下かん水用スプリンクラー」は、一般的な仰角23°の本体に特殊ブレーカを付加することでさらに低く、手前までムラ無く かん水することができます。飛距離は、30%ほど短くなりますが、オーバーラップさせる必要がないので効率的です。

この方法は、東北新幹線や、北陸新幹線の線路の融雪も使われている当社の技術です。

